



安全の取り組み

運輸安全マネジメント

経営層から乗務員まで社員一丸で

健康管理プロジェクト

血圧、脳ドック、SAS

安全

ドライブレコーダーの活用

AIによるリスク検知、テクノロジーの活用

スキルアップ講習

車両感覚、運転技能、危険回避

ヘルステック

BTOC、メオチェック

健康管理プロジェクト

血圧管理の様子

出社時に血圧を測定



SAS(睡眠時無呼吸症候群)

対象者(予備軍)は簡易検査を実施の後、要治療対象者はC-PAP治療を実施

脳ドック

再雇用時と契約更新時に脳ドックの受診を義務化



事業用自動車の事故削減において、健康に起因する事故の増加への対応は国土交通省においても重点施策とされています。自動車総合安全情報においては運転者の健康管理マニュアル、睡眠時無呼吸症候群、脳血管疾患、心臓疾患・大血管疾患に対する対策マニュアルに加え、2022年3月には新たに「自動車運送事業者における視野障害対策マニュアル」が公開されました。

日本交通では「社員が健康でなければ安全な運転は提供できない」という考えのもと、「ウェルネス経営」を導入しています。これまで「健康管理プロジェクト」において、SASの簡易検査の実施、血圧測定の強化、脳ドック受診の推奨を行ってまいりました。今回の目の健康チェックの取り組みは、新たなマニュアルで推奨される対策に対応するものです。

テクノロジーを活用し乗務員の健康維持と技能向上に取り組んでいます



BTOC (Brain Trainer On Cloud)

「運転技能向上トレーニング・アプリAI版」を活用し前頭前野をトレーニング。個々のトレーニング状況をAIが解析し、プレイヤー毎に最適なトレーニングへ調整する機能を拡張するなど、「運転技能」「認知機能」「感情状態」の向上が期待できる。何か危険なものを察知する能力、それを避けようとする判断の力が向上します。

メオチェック

眼の健康チェックによって異常を早期に発見できれば、適切な治療を行うことで病気の進行を遅らせることや症状に対処することができます。乗務員の眼の健康を維持することで、長期的に運転に従事することができれば、乗務員に長く安心して働ける環境を提供できるとともに、お客様へも一層の安全と安心を提供できるようになると考えます。



**AIドラレコが運転内容を映像分析して、見るべきシーンを選定。
事故の未然防止に向けた改善活動に役立てることで事故削減が可能。**

従来のドライブレコーダー

事故発生など何かあったときの
確認・証拠保全などが主な用途。

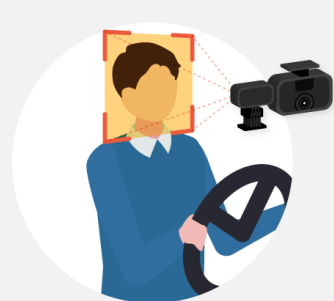


記録確認は車両から
SDカードを取り外して
確認する必要がある。

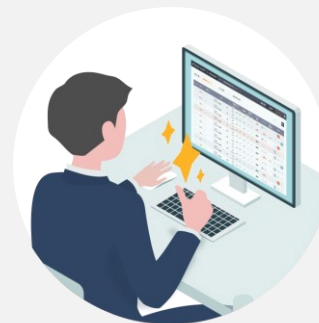


AIドラレコの特徴

**AIドラレコがドライバーの危険運転を検知。
自身の運転動画確認で納得感のある運転改善が習慣化。**



運転動画をAIが映像分析。
事故に繋がりそうな運転
(＝リスク運転)を検知。



確認が必要な動画だけを
選定して通知。
遠隔からの確認も可能。



自身のリスク運転を
動画で確認して改善。
事故の未然防止を促進。

通信型ドライブレコーダー ドライブチャートの活用

DRIVE CHART

ログアウト

日本交通NRS取付用支店

お知らせ

使い方・お問い合わせ

戻る

(実際にはここに個人名)

☆

スコア詳細

スコア推移

動画一覧

2024年 10月 5日 (土) のスコア

直近24時間のスコアを見る>

設定目標

一時不停止

目標点100

88/100

未達成

全 0 件

😊 0

😞 0

リアクション一覧+

https://web.drive-chart.com

リスク運転行動



2024.10.5 / 03:21

急減速

0.40G

2024.10.5 / 16:08

目標

一時不停止

8.3km/h

2024.10.5 / 17:50

急減速

0.44G

2024.10.5 / 18:51

急減速

0.42G

動画一覧

目標設定

いつ？どこで？どんなリスク運転があったか？AIが自動検知

日本交通株式会社

CONFIDENTIAL

6

NRS安全対策のテーマと取組み

テーマ

- ① 長年に渡り乗用旅客事業者として培ってきた運行管理のノウハウをどの様にNRSに活かすか？
- ② 基本的に会社に出社せず業務が開始・終了するNRSDライバーをどの様に安全を担保するか？

取組み

- ◇ ドライブチャートを活用しリスク運転をタイムリーに検知
- ◇ 運行管理者によるリスク運転の告知と指導・アドバイスを個別に実施
- ◇ 情報を受ける機会が少ないドライバー達への的確な情報を的確なタイミングで伝達することが重要

etc...

テーマ①

長年に渡り乗用旅客事業者として培ってきた運行管理のノウハウをどの様にNRSに活かすか？

1. タクシー会社によるノウハウが詰まった初任教育 e-ラーニング、実地研修、同乗指導（追加同乗）

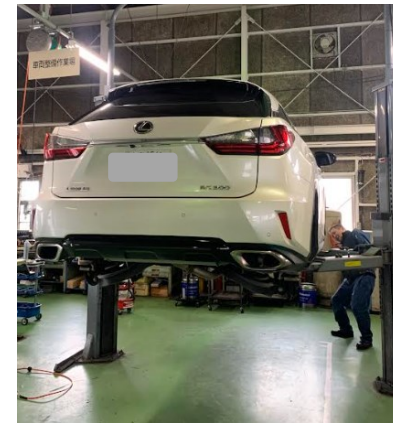


テーマ①

長年に渡り乗用旅客事業者として培ってきた運行管理のノウハウをどの様にNRSに活かすか？

2. 運行中に何かあればいつでも営業所管理者がサポート可能
(苦情、事故、トラブルも管理者が対応・処置にあたる)

3. 車両点検
自社指定工場による
営業車と同様に点検
整備を実施



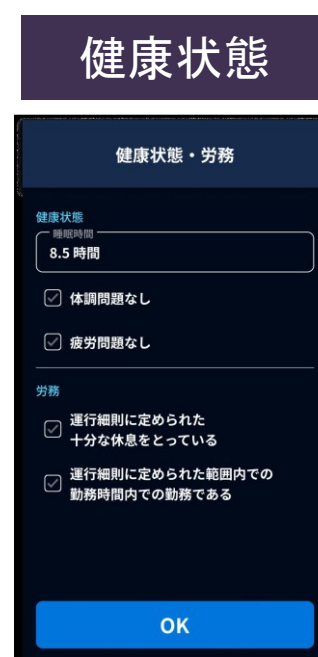
4. 健康診断、健康管理
入社時検診、定期健診、健康指導
正社員的一般タクシー乗務員と同様の健康管理を実施

項目		基準
脂質	HDLコレステロール	142~219
	LDLコレステロール	140以上
	non-HDLコレステロール	60~139
中性脂肪	空腹時	90~149
血糖	随時	30~149
糖代謝	HbA1c	73~109
糖負荷	60分	
糖負荷	120分	

テーマ②

基本的に会社に出社せず業務が開始・終了するNRSDライバーをどの様に安全を担保するか？

1. ドライバーアプリログイン時に顔認証他によるセキュリティー
2. 免許証のIC読取りで本人確認と免許証所持を確認
3. アルコールチェック時に測定中の様子はインカムで記録保存



テーマ②

基本的に会社に出社せず業務が開始・終了するNRSDライバーをどの様に安全を担保するか？

4. 遠隔点呼(営業所⇄車両)でリアルタイム通信

管理画面

メニューを開く

ダッシュボード

お知らせ

資料一覧

よくある問い合わせ

運行管理

ライドシェア稼働管理

シフト管理

乗務員点呼

乗務員点呼

乗務員マスター

ドライバーマスター

乗務員記録

ライドシェアレポート

日報

給与計算用レポート

稼働・異動レポート

稼働状況

マスター管理

レポート

ファイルダウンロード

管理機能

GO Crew管理

GOシェア管理

乗務員点呼 2024年1月1日

鈴木次郎

会社/営業所

シフト

5:00-9:00

乗務員点呼開始時間

5:00

点呼場所

すべて

表示

CSVダウンロード

※乗務員点呼開始時間の10分前まではビデオ通話へ応答してください。

ビデオ通話に接続

選択した人を配車許可にする

こちらから配車許可を実施

すべて選択	点呼方法	ビデオ通話接続	配車許可	ドライバー名	車両番号	勤務時間	写真	アルコール測定	日常点検	走行距離	顔認証	運転免許証	周辺機器確認	健康状態	その他・伝達事項
<input checked="" type="checkbox"/>	遠隔	未招待 担当	-- メモを記入	12345 田中二郎	品川999 あ 99-99	出勤 5:00 退勤 9:00		問題なし	問題なし	入力済み	問題なし	問題なし	問題なし	問題なし	--
<input checked="" type="checkbox"/>	遠隔	未招待 担当	-- メモを記入	12345 田中二郎	品川999 あ 99-99	出勤 5:00 退勤 9:00		問題なし	問題なし	入力済み	問題なし	問題なし	問題なし	問題なし	--
<input checked="" type="checkbox"/>	遠隔	通話中 担当 鈴木次郎	-- メモを記入	12345 田中三郎	品川999 あ 99-99	出勤 5:00 退勤 9:00		問題なし	問題なし	入力済み	問題なし	問題なし	問題なし	問題なし	--

日常点検

ブレーキ・ペダル

踏みしろ

問題なし

ブレーキの効き

問題なし

パーキングブレーキ・レバー (引きしろ)

問題なし

ブレーキのリザーバ・タンク

問題なし

点検・点検員名

問題なし

灯火装置、方向指示器

汚れ

問題なし

損傷

問題なし

タイヤ (空気圧)

問題なし

走行距離入力

1,234km

顔認証

免許証確認

問題なし

健康状態

体温

37.5℃ (手動)

睡眠時間

6時間

体調

問題なし

疲労

問題なし

その他伝達事項

--

周辺機器確認

ドライブレコーダー動作確認

問題なし

ETCカード挿入確認

問題なし

表示灯設置確認

問題なし

アルコール測定

測定時写真

アルコール測定結果

0.00 mg/l

シリアル番号

abc12345-12

日常点検、セルフチェックの結果が表示される (未実施の場合は表示されない)

個人を選択すると、日常点検、セルフチェックの詳細が表示される

テーマ②

基本的に会社に出社せず業務が開始・終了するNRSDライバーをどの様に安全を担保するか？

5. 運行中に何かあればいつでも営業所管理者がサポートを実施
(苦情、事故、トラブルも管理者が対応・処置にあたる)
6. リスク運転のフィードバック、フォロー教育



リスク運転が検知されたらできるだけタイムリーにドライバーと共有。

タクシー管理者の知見とノウハウで的確なアドバイスや指導を実施。プロの目による管理とフォローでドライバーの安全レベルを引き上げる。

ご清聴ありがとうございました